

## 議長定例記者会見 会見録

日時：令和5年2月17日 10時30分～

場所：全員協議会室

### 1 冒頭の挨拶

### 2 質疑項目

○新型コロナウイルスへの感染について

○前知事が代表を務める自民党支部が受けた寄付について

### 1 冒頭の挨拶

(議長)おはようございます。ただいまから2月の議長定例記者会見を開催させていただきます。この会見は2月6日に開催させていただく予定でしたが、私が新型コロナウイルスに感染して症状が長引いておりましたので、本日に延期をさせていただいたところでございます。皆さまには大変ご迷惑をお掛けいたしました。ご対応いただきまして誠にありがとうございます。初めに、今月6日に発生しました、トルコ・シリア地震について述べさせていただきます。今回の地震によりお亡くなりになられた方に、哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。昨日の代表者会議では、三重県議会から義援金を贈ることを決定したところでございます。現地では懸命な救助活動が続けられており、一人でも多くの命が救われることを祈っております。さて、本日の発表事項はございませんので、2月15日から始まりました2月定例会議について少し所感を述べさせていただきます。今定例会議では、令和5年度の当初予算に関する議論が中心になると考えています。先日から全員協議会や議案聴取会を開催して審議を開始しているところでございます。今後は、予算決算常任委員会のそれぞれの分科会で、さらに詳しい審議を進める予定でございます。昨年に作られた総合計画を実行に移す予算になっているか、慎重に審議していきたいと考えております。我々議員の任期もあと2カ月余りとなってまいりました。引き続き県勢発展のために尽力してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。私からは以上でございますので、よろしくお願い申し上げます。

### 2 質疑応答

新型コロナウイルスへの感染について

(質問)幹事社から幾つか先に質問させていただきます。議長、コロナに感染されていたということですが、そういったご経験を踏まえて、コロナの

対策、対応、県で何か必要だと思うこととか、あってよかったなと思うところはありますでしょうか。

(議長) コロナウイルスにつきましては、国で方針が決められてまいりまして、この3月13日からはマスクもしなくていいということになってまいります。国の方針に沿って県もそういう方向で進めていただくとお思いますので、議会としてもそれに倣って準備をしていきたいと思っております。ただ私がかかった経験から言いますと、絶対かからないほうがいいなということをつくづく感じましたので、マスクをすることによってそれが防げるなら、人の前に出るときには、なるべくそういうエチケットといいますか、そういうものを守りながら、それぞれが行動をして、コロナに対応していかなくてはならないなということをつくづく感じたところでございます。

(質問) そうすると、3月からは議長ご自身はマスクをしようかなという感じなんですか。

(議長) 必要最小限マスクを外す方向で活動していきたいと思いますが、人の迷惑にならないように自分でも自重しながら、その場面、場面によってマスクを着用することもあると思います。

○前知事が代表を務める自民党支部が受けた寄付について

(質問) あともう1点全く話題変わりますけれども、報道とかでもご存知かもしれないですけれども、前三重県知事の鈴木英敬代議士の関係ですが、2021年の衆議院選挙の際に、ご自身が代表を務めている自民党の県第四支部に、国の公共事業を受注している企業からの寄付が幾つもあったという報道がなされていますけれども、今の知事ではないですが前知事は10年近く三重県で知事を務めておられた方ということで県内の衝撃というのも広がってると思うんですけれども、議長はこの出来事をどのように受け止めていらっしゃるのでしょうか。

(議長) その件につきましては、私も報道されている部分でしか承知をいたしておりませんので、議長としてのコメントは控えさせていただきたいと思いますが、代表者会議で議員の中から、県知事の時代のことについて議長で調査をしてくださいという話が出たんですが、議長が調査をする権限を持っていないわけですので、これからも代表者会議でもう一度各会派にそのことについては持って帰っていただいて、どういう方向に進んでいくのがいいのかということで、皆さん会派に持ち帰ってご検討いただいて、もう一度代表者会議でそのことについて検討することになっておりますので、そういう方向でこれが

ら進めていきたいと思っています。

(質問)ありがとうございます。幹事社からは以上です。質問があればお願いします。

#### ○新型コロナウイルスへの感染について

(質問)症状が長引かれたと先ほど仰ってましたけれども、もし可能であれば、どんな状態でどんなことを感じたというのを改めて教えていただきたいのですが。

(議長)コロナにどこでかかったかっていうのが、全く分かっておりません。東京に出張を1泊2日でしておりましたので、そこへ行ったときかなというぐらいしか感じとしてはないんですけども、しかし一緒に同行してもらった職員の皆さんは誰もそんな症状出ておりませんので、そこでも違うかなと思ったりもしておるんですが、なかなか原因は分からない状況です。ただ私の場合、熱はあまり高くならなくて、37度9分が一番高かったんですが、注射を打ったときでもそれぐらいの熱出ておりましたので、注射のときと一緒にぐらいの熱だなという感覚はあったんですが、ただ喉にコロナウイルスがついたのかなと自分で理解してるんですが、喉をやられましてね、夜寝るときも咳き込んで寝られない状況が4、5日続きました。睡眠不足になるような状況ですし、喉の痛み止めの薬を追加して処方してもらったんですが、それが長引いてしまって、人の前で話をすると咳が出てくるという、そんな状況でございましたので、皆さん方にご迷惑かけてもいかんということで、定例記者会見を延期させていただきましたという、そんな経緯もございまして、保健所からもお電話をいただきまして、私がかかったのは1月28日に症状が分かったんですが、その時に病院はほとんど満床ですのでホテルへ行かれますかっていう話があったんですが、ホテルへ行くよりは自分の家で隔離してもらったほうが何かと便利ですので自宅におりますという話をさせてもらったんですが、基礎疾患をお持ちの方ですので心配をしておりますという話でございました。おかげさまで基礎疾患があっても、他の例えば肺炎になるとか、そういうことにはならなかったので、自宅療養で10日間ほど静養させていただきました。

#### 前知事が代表を務める自民党支部が受けた寄付について

(質問)先ほどの英敬さんの件でちょっとお答えの趣旨がよく分からなかったので教えていただきたいんですが、今後代表者会議の場で改めて検討をするということをお話しされていたんでしょうか。もう一度その運びについて教えていただけますか。

(議長) 代表者会議の場で、新聞記事を見て発言がございまして、県知事の時代のそうした企業から献金があったんじゃないか、議長調べてもらったかどうかというお話がありました。私もその場で聞いたのが初めてでございましたので、答えを準備しておりませんでしたけども、副議長と相談をして対応していきたいと話をさせてもらったんですが、その時に、できたら各会派のご意見も聞かせていただきたいので、それぞれ各会派に持ち帰っていただいて、そして今後の対応をどんなふうに進めていくのか、各会派からご意見を聞かせていただいて正副議長でまとめていくということでその場は納めさせていただきましたので、次の代表者会議にどんなふうに出てくるのか、それをもって今後の方針を決めていくということになります。

(質問) 受け止めについて先ほどのお話では報道で知るだけであってコメントを控えるという趣旨のお話をされてましたけども、報道で知るだけであるからコメントを控えるという因果関係がよく分からなくて、ご本人もお認めになっている中で、また事務所側も返金をされてる中で、議長としてどのようにお考えになってるか、その受け止めに改めてお願いします。

(議長) 政治資金収支報告書というのは、政党も議員も皆それぞれ自分の持っている後援会だとか、あるいは党の場合は党の支部、そうしたものを報告しておりますので、この政治資金収支報告書っていうのは、どなたでも公開しておりますので、確認をできる状況にあります。私も昨日、自分でインターネットで少し見せていただきましたが、特に違反をしているような状況の、これは危ないなとかというような状況はあまり見受けられませんでしたので、本人がテレビでも報道に答えられておりましたけれども、知らずに、立ち上げたばかりの自民党第四選挙区支部に、団体からご寄付をもらったと。それは選挙のための寄付ではなしに、第四選挙区支部運営の支援としてもらったお金だとご回答されておりましたので、それを聞くと違法ではないのかなという感じもいたしますし、道義的な問題もあるので、本人は昨日の時点で、寄付された方々にお返しをさせていただきましたとコメントもされておりましたので、普通、誰でもやるような、政治家ならけじめをきちっとつけるという意味からやられたことではないかなと思います。収支報告書については後ほど精査をして訂正をさせていただくというコメントもございましたので、それをしっかりと受け止めさせていただいたというような状況です。

(質問) すみません、ご発言の確認ですけども、政党支部の運営のための資金ということで受け取りになられたということで違法ではないのかなというのは、

違法じゃないだろうということで今ご発言があったということでよかったですか。

(議長)それは、自由民主党第四選挙区支部に団体から寄付をされておりまして、選挙のために使う寄付ではないわけですよ。ですから、鈴木英敬さん、名前出してもいいのかどうか分かりませんが、個人さんに寄付されたものでないので、それは一応選挙法上は違反にはならないという見解だそうですので、今の取られた行動でいいんじゃないかなというように私は確認をしております。

(質問)今のご発言で確認したいんですが、個人の寄付ではないのでという話で、そう聞いているので今の対応でいいんじゃないかと思うって、聞いているっていうのは誰か、議長がこのことを受けて県選挙管理委員会とかに見解を確認したということですか。

(議長)私はその確認はしておりません。

(質問)その中で、今のご発言だと、誰でもやるようなけじめをつけるという思いからやられたんじゃないかと思うという発言もありましたし、それから、政治資金報告書を確認してみたという発言もありましたけれども、それはご自身のものを見てみたということですか。

(議長)鈴木英敬さんのを見てみたんです。

(質問)けじめをつけるという意味からやられたのであるとご認識されておることですから、それはもちろん違法ではないというご認識である前提の上で、ただやっぱり例えば返金されたりっていうことはされるべきであろうとか、その対応っていうのは適切であると思われるわけですね。

(議長)そうですね。

(質問)違法でなくてもそういうことをするっていうのは、なぜというか、ご自身として。

(議長)今、申し上げたように違法ではないと思ってますけれども、ただ、今申し上げたように道義的な責任をとるといって、政治家としてけじめをつけるという、そういう方向を鈴木国会議員は取られたんじゃないかなと思ってまして、政治家として当然あるべき姿だなと感じております。

(質問)選挙のための寄付ではない、お金ではないという趣旨ですけれども、実際の選挙の収支報告書等によると、選挙資金としてはこういう政党支部から実際、寄付金をもらって選挙に臨むということはあるわけですが、それでもやはり選挙のための寄付には該当しないとお考えですか。

(議長)政党支部から選挙資金が回るということは、当然これありますよね。だから個人としては団体からは寄付を受けられないということになっていますから、当然、個人の後援会だとか、育てる会があったとしても、なかなか個人寄付はできますけれども、団体寄付はできないということになっていますので、それは今のところなかったと私も思っています。ただ、第四選挙区支部から選挙費用としてそれが回ったかどうかは、そこまで私も確認をしておりませんので、それはお答えすることができません。

(質問)一方で、こういうことが発覚した中で、これから皆さんも含めてだと思うんですけど、じゃあどうしていくのかという話もあると思うんですね。要は、一件一件受け取る方々の公共工事を受けているかどうかを例えば確認していくとか、現実的にこういう事態を回避するにはそういう確認を徹底しなければならぬであったりとか、確認しきれぬのかとか、そういった対応策というか、過去にこういうことが全くなかったのかどうかも分からないですし、議会議員の在り方としてどうしていくべきだとお考えになられますか。

(議長)政治家としてモラルの問題だと思しますので、我々も県議会議員の選挙を何度か戦ってきましたけども、県の仕事に関わるような方々と、そういうお金の寄付をもらうということは気をつけてずっとやってきましたので、まず私は今の現職の県議会議員にはそういう人はいらっしやらないと思っています。確認はしておりませんが、おってもらわないと思っていますので、十分議員が自覚をして選挙戦は戦っていると思いますので、まずそれはないと私は思っています。

(質問)他にご質問はございますか。ではこれで、ありがとうございました。

(議長)どうもありがとうございました。

(以上) 10時53分 終了